

スズメバチ

みなさん、スズメバチをご存知でしょうか？全国で毎年、10名以上の方が刺されて亡くなっています。京都市は盆地で、周囲の山間部などには大型のオオスズメバチが多く生息しており、ハイキングに訪れた方々を脅かすことがあります。また、街中でも緑が多い場所ではコガタスズメバチが巣を作るのが見られます。毎年、保健センターに相談が多数寄せられています。

スズメバチの習性

越冬した女王バチは、春に気温があがってくると、体力を回復させるために樹液を吸います。そして1匹で巣作りし、初夏には1回目の働きバチが誕生します。働きバチが生まれる度に巣が大きくなります。中でも一番働きバチが多いキイロスズメバチの巣は1年で直径50～60cmまでにも大きくなります。スズメバチは肉食で、昆虫や他のハチ類を狩ってエサにしますが、樹液も好みます。冬になり気温が下がると女王バチ以外は死にますが、女王バチは越冬場所に移動し、後に空の巣だけが残ります。この巣が再び用いられることはありませんが、同じような場所を好んで毎年、巣作りするようです。

スズメバチトラップ

スズメバチトラップというものがあります。これは、春になり行動する栄養のため、樹液を求める女王バチを匂いでおびき寄せて捕まえ、作られる巣の数を減らすことにより、その被害を減らすために設置します。越冬した女王バチの約10匹に1匹が巣を作り（他は何らかの理由で死ぬ）ますので、約10匹捕まえたら1個の営巣を防げることになります。わたしたちも試験的にここ数年間、数か所に設置してきました。すぐに効果は現れませんでした。最近では苦情が減ってきたという地域もあり、継続することによる効果を感じています。

方法

このトラップは、女王バチだけを捕まえるのが目的ですから、働きバチが出始める7月初旬まで設置します。働きバチは数も多く、刺される危険性が大きくなります。また、むやみに多く捕えて生態系に影響を及ぼすことがあってはいけません。

1 トラップ本体

2Lのペットボトルで右図のように作ります。

(けがをしないように注意してください。)

2 誘引液

日本酒：酢：砂糖＝300mL：100mL：125g（混ぜる）

3 設置法

- ・捕獲器に誘引液を底から約5cm入れます。
- ・設置場所は、直射日光が当たらない樹木など自然物のところにビニール紐などで吊るします。
- ・子供が触ることのできないように地上2～3mくらいに設置しましょう。
- ・捕獲器に油性ペンで「スズメバチ捕獲中」などの注意を書いておきましょう。

※ 捕獲された虫類は生ゴミとして処分し、ペットボトルは資源ゴミとして処理してください。



上：オオスズメ女王(6cm)
下：コガタスズメ女王(3.5cm)



後：キイロスズメの巣(55cm)
前：コガタスズメの巣(17cm)



捕まえたスズメバチ



設置したトラップ

2cm四方の窓
(前後の二か所)



窓の開け方

- ① 2cm四方の正方形を書く
- ② せんまい通して穴をあける
- ③ 赤線の部分三か所をカッターナイフで切り込む
- ④ 外側・内側に折り曲げる